

はいたち!



一っ子フェスティバル終わる!



先日行われた一っ子フェスティバルでは、たくさんのお家の方に見に来ていただきまして本当にありがとうございました。5つのダンスを精一杯踊りきった子ども達。写真を撮って下さった樋口先生からも、「みんなの汗が踊るたびに飛んできていたよ。」と、一生懸命な子ども達の姿を褒めていただきました。休みが明け、一っ子フェスティバルを振り返っての作文を読みました。どの子の作文にも、直前までとても緊張していたこと、オープニングを踊ってほぐれたこと、力いっぱい踊りきることができたことなどが書かれていました。体を動かすこと、みんなで踊ることの心地よさとともに、一つの目標に向かって取り組んだ後の充実感を少しでも味わうことができていたならうれしいです。音楽をかけながら、「かっこいいなあ。」と、若さをうらやましくさえ思いました。本当にがんばりました。

第一小学校の創立記念式がありました

第一小学校の創立記念式が11月1日にありました。5年生も大変立派に臨むことができました。40周年の記念誌に載った2人の仲間の作文を紹介します。

「大切にしたい二つの伝統」

五年 高橋 瑞穂

今年四十才になる第一小学校。ここで学ぶ私達が特に力を入れてがんばっていることがあります。

一つ目はトランペット鼓隊です。飯豊町で行われるたくさんさんのイベントで演奏しています。私はトロンボーン担当です。「喜びの歌」、「鉄腕アトム」の曲を、六年生に教わりながらがんばって練習しています。おかげで少しずつ吹けるようになり、自信が付いてきました。みんなで音を合わせ、うまくいくととてもうれしい気持ちになります。まだあいまいなどところがあるけれど、これからもいっぱい練習して上手になりたいと思っています。

二つ目は児童会です。私達の学校は「幸せ配達人」という活動を行っています。一人暮らしのお年寄りに、花だんで育てたゆりを配達し、元気に生活してもらおうという活動です。ゆりを届けにいくと、おじいちゃん、おばあちゃん達もぱっと笑顔が広がり、喜んでくれているのがわかります。その姿に私達までうれしい、温かい気持ちになっていきます。二つの活動を、今は六年生が中心になって進めてくれています。来年は私達の番。しっかりと伝統を引きついでいきたいと思っています。

「今、そしてこれから」

五年 渡部 巧也

ぼくは、第一小学校で誇りに思うところがたくさんあります。一つ目は、学校に入ると元気で明るいあいさつがたくさん聞こえてくることです。友達と笑顔であいさつを交わすと、「よし、今日も一日がんばろう。」という気持ちになります。二つ目は五五〇コースです。フルマラソンの距離を走ることを目標にして、体育の時間や休み時間になると、がんばって走っています。暑い日は大変だけれど、走り終わるととてもすがすがしい気持ちになります。お家の方や先生方も、ぼく達が走りやすいように、土を入れてでこぼこをなくしてくれたり、草刈してくれたりして整備してくださっています。三つ目は登下校の時です。ぼく達が道を渡ろうとすると、地域の方々すぐに自動車を止めてくれます。わりと終わった後にはいつもみんなで、「ありがとうございました。」と、大きな声で言っています。中にはあいさつをしてくださる方もあり、みんなに見守られていることを実感できます。ぼくが誇りに思うこの三つが、卒業した後もずっと続くといいと思っています。

11月は勉強です!

11月は、一っ子フェスタが終わると大きな行事もなく、他の月より比較的落ち着いた学習に取り組むことができそうです。読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋ですが、クラスは「学習の秋」です。個人的には様々な秋に取り組みつつ、学習に本腰を入れ、確かな力をつけさせていきたいと思っています。発表会への取り組み期間中は、宿題、音読カード、自主学習の班チェックもしばらく休みましたが、また今週からスタートします。休み時間の学習会も、算数を中心に三期目を始めます。自信がない時はふるって参加するよう呼びかけていきます。

